

提出日： 2023 年 6 月 29 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
商学部	准教授	酒井 麻衣子

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。				
	<table border="1"><tbody><tr><td>1. 2022年4月 1日 ～ 2023年3月31日</td><td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">1</div></td></tr><tr><td>2. 2022年9月 1日 ～ 2023年8月31日</td></tr><tr><td>3. 2022年4月 1日 ～ 2022年9月20日</td></tr><tr><td>4. 2022年9月21日 ～ 2023年3月31日</td></tr></tbody></table>	1. 2022年4月 1日 ～ 2023年3月31日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">1</div>	2. 2022年9月 1日 ～ 2023年8月31日	3. 2022年4月 1日 ～ 2022年9月20日
1. 2022年4月 1日 ～ 2023年3月31日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">1</div>				
2. 2022年9月 1日 ～ 2023年8月31日					
3. 2022年4月 1日 ～ 2022年9月20日					
4. 2022年9月21日 ～ 2023年3月31日					
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。				
	<p>健康関連サービスの継続利用を促進するためのサービス・マネジメントを具体化することを目的として、以下の研究活動を行った。</p> <p>(1)上記目的において、健康行動研究の知見をどのように応用できるのかについて、21 年度に取り組んだ文献調査の結果を論文にまとめた。</p> <p>(2)2020 年度より調査対象としているフィットネスクラブ利用経験者約 1,500 名に対し、計 5 回の追跡定量調査を実施した。それにより、約 10 か月間にわたるフィットネスクラブの月次利用実績や、消費行動モデルの仮説に関わる多くのデータを取得した。本データを用い、フィットネス利用の促進要因が異なる消費者セグメントを識別することを目的とした分析を行い、学会にて報告した。</p> <p>(3)継続利用を促進するサービス・マネジメントの実現にあたっては、消費者が健康によってどうなりたいのかという「消費者の健康目標」の内容を理解することが必要となる。上記調査で取得した自由記述回答に対し質的データ分析を行い、「消費者の健康目標」の内容と構造を明らかにした。その結果について論文にまとめるとともに、国際学会にて一部を発表予定である。</p>				
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。				
	<p>(1)酒井麻衣子.(2023). 健康関連サービスにおける健康行動理論の応用可能性. 商学論纂, 64(5-6), 63-102.</p> <p>(2)酒井麻衣子.(2022). 健康関連サービスにおける消費者セグメントの理解 –継続利用を促進するサービス設計の策定にむけて. 日本商業学会第 72 回全国研究大会報告論集, 137-139.</p> <p>(3)2023 Global Marketing Conference at Seoulにて報告予定</p>				
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を進展させる計画か、ご記入ください。				
	フィットネスクラブ利用者について取得した時系列データに対して更なる分析を実施し、上記目的に対する一定の結論を出すことを目指す。それらを活かし、消費者の健康とウェルビーイングに対し商業サービスが貢献できるよう、消費者理解を深める研究に発展させたい。				